

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業効果検証結果

事業 №	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
1	子育て世代生活支援給付金	児童扶養手当受給者の生活支援(支給対象児童1人につき1万円)	R2.6	R3.4	3,160,000	・児童扶養手当の受給者を対象に、支給対象児童1人につき1万円を給付した。 (当初給付・令和2年4月分支給対象者) 支給対象者274名 支給総額274名×1万円=2,740千円 (追加給付・令和2年5月分から令和3年4月分支給対象者) 支給対象者45名 支給総額45名×1万円=450千円	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経済的にゆとりの少ない世帯への支援であり、支給も迅速かつ適切に出来たと考える。 ・積極支給の対象にはならなくても、積極支給の世帯同様支援が必要な世帯へも支給できた。 ・支給額については、家庭状況により満足度が異なるため、公平性を確保した支援額等の設定が課題である。 ・低所得を理由に生活ができなくなってしまった世帯:0件
2	緊急生活支援給付金	那須町社会福祉協議会が実施する緊急小口資金または総合支援資金の貸付申請世帯の生活支援(1世帯5万円、1回限り)	R2.4	R3.4	11,000,000	・緊急小口資金または総合支援資金の貸付申請世帯へ生活支援金を給付した。 給付世帯:220世帯 給付額:1世帯あたり5万円	・新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等をされた生活困窮者へ生活支援を行ったことにより、生活の維持を図ることができた。 ・借入金返済不履行件数:令和5年1月から返済のため現在0件
3	オンライン学習支援サービス	個々の理解度に合った多様なコンテンツの提供による家庭学習の充実(小中学生)	R2.9	R2.10	978,120	・教育ソフトウェア「eライブラリ」を町内小中学校全校に導入した。 小学校6校 中学校2校	・教育ソフトウェア「eライブラリ」を町内小中学校全校8校に導入したことにより、リモートやオンライン授業に活用することができ、学習確保に繋がった。
4	衛生用品購入	感染症拡大防止のため、必要時に配布ができるよう衛生用品の備蓄	R2.4	R3.2	6,376,835	・手指消毒液、物品消毒液、ガウン、手袋等の感染予防のための衛生用品の購入、備蓄を行った。 (物品と数量を記載してください) 手指消毒液(10):446本、手指消毒液(50):55本 物品消毒液(4.50):122本、物品消毒液(50):50本 かぶ:400枚、ナイロン:30枚 フェイスシート:100枚、手袋:216枚 非接触体温計:23本、雑巾:72枚 マスク:75,220枚、足踏式消毒液:5台	・衛生用品を購入、備蓄することで必要時に提供でき、公共施設での感染予防・拡大防止ができた。 ・遅延提供回数(要望日の翌々日以降提供):0件
5	事業主向け雇用維持支援金	雇用調整助成金を申請した事業主への支援	R2.6	R3.3	39,338,000	・町内に事業所を有する事業者で、新型コロナウイルス感染症の経済的影響により雇用調整助成金を受け、その1/10に相当する額(最大120万円)を申請により支給した。 支給対象者:74件	・コロナ禍で事業経営が厳しい中での支援金は効果が高かった。 ・支援金受給者の廃業件数:0件
6	緊急経済対策相談センター設置	緊急経済対策相談センター設置	R2.5	R2.8	2,410,100	・国の雇用調整助成金及び持続化給付金に関する緊急相談窓口及びコールセンターを設置し、経営上の課題への相談に対応した。 設置期間:令和2年5月～7月 相談件数:電話相談85件、面談24件	・相談内容が専門的であったため、窓口設置は効果が高かった。 ・相談対応率:100%(相談件数に対する対応件数)
7	観光分野緊急対策事業	観光客減少に伴う観光客(エージェンツとの提携や温泉プロモーションの企画、SNSによる動画配信等の誘客キャンペーンに係る事業)	R2.6	R3.3	5,500,000	・東京メトロで特典を受けることができるうちわの配布や、SNSによる動画配信等を行った。 ・「メトロでうちわ」キャンペーン 5駅10,000枚配布(26施設協賛) ・Instagram広告 年齢および性別:20～39歳 配信エリア 首都圏(東京、千葉県、埼玉県、神奈川県、茨城県、群馬県、山梨県) ・YouTubeインストリーム広告 ・「じゃらんnet トリップアドバイザー」じゃらんnet トリップアドバイザー7月～14日開掲載 ・2020年7月15日(水)～2020年7月30日(木) ・「週刊じゃらん」週刊じゃらん関東欄買取枠 ・2020年7月16日(木)～2020年10月8日(木)	・観光客数の入込調査を実施した結果、ファミリー層における貸別荘、キャンプ場の入込が昨年度比で増加した。ウィズコロナの時代における安全で安心な旅行スタイルをアナウンスした結果、誘客に繋がっている。そのため、観光客入込数は減少しているものの減少率は3割弱で留まっている。 ・観光客入込数対前年比:約72.5% R2観光客入込数 3,480,872人 R1観光客入込数 4,799,209人
8	那須町中小企業振興資金信用保証料補助金	中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業者等が負担する信用保証料の補助(当初予算分)	R2.6	R3.5	15,874,892	・経営環境の厳しい中小企業に対し、町制度融資を利用しやすくすることによって、中小企業の活性化をや商工業の振興、発展を図った。 補助件数:189件	・中小企業振興資金制度を利用する町内の中小企業者等が負担する信用保証料を補助することにより、事業者の資金確保に係る負担の軽減を図り、事業継続のための支援を行うことができた。 補助事業者の廃業件数:0件
9	店舗リフォーム補助金	業態変更や新型コロナウイルス感染症の終息後の集客力向上等を図るための店舗リフォーム費用の補助(当初予算分)	R2.4	R3.3	24,714,000	・空き店舗、空き家の有効活用の促進並びに中小企業を支援し、地域の活性化を図った。(新型コロナウイルス感染症対策のための店舗改装可) 補助件数:31件	・コロナ禍でもアフターコロナを見据えた店舗の魅力向上や感染対策防止に取り組むため、リフォームを考える事業者は多く、町内店舗の魅力向上を図ることができた。 補助事業者の廃業件数:0件
10	新型コロナウイルス感染症拡大防止支援金	栃木県緊急事態措置に基づく栃木県からの休業の要請又は協力依頼のあった施設及び町からの営業自粛要請に応じて休業した事業者への支援	R2.5	R2.11	49,300,000	・町の要請により休業に協力した町内事業者に対して支援金を支給した。 支援件数:495件	・ゴールデンウィーク中での休業で、厳しい経営の中、このような支援金は効果があった。 支援金受給者の廃業件数:0件
11	テレワーク環境整備事業	テレワーク環境の整備(タブレット端末等、Wi-Fi端末、LAN等整備費、Web会議機材、バックボード作成)	R2.8	R3.3	10,075,626	・情報通信環境等の整備を実施した。 タブレット:40台3,157,000円 内無線LAN環境整備:2,244,000円 LANケーブル等整備:3,199,900円 各種アプリケーション使用料:833,800円 その他周辺機器等:640,926円	・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い業務の在り方が変化し、特にWeb会議の普及に伴い、早期の対応が求められたが、当該事業の実施により適切に対応することができた。また、タブレット導入によりペーパーレス化の推進やデジタル化の必要性・重要性の認識も高まった。 ・配備先:三役、課長、議会議員 主としてタブレット利用に変更した会議 執行部:課長会議、入札指名業者選考委員会 議会:本会議、各種委員会会議、その他議会関係会議
12	水道料・下水道会計繰出金	栃木県の要請・協力依頼に応じて4月28日から5月6日までの期間について休業をした事業者への支援(水道・下水道使用料の超過料金の2分の1減額)	R2.4	R3.3	4,138,220	・上下水道料金の減免を実施した。 水道分 減免件数:130件 減免額:3,327,480円 下水道分 減免件数:57件 減免額:810,740円	・上下水道料金の減免により、経費の削減に繋がっており、事業者が事業を継続するための一助となった。 減免事業者の廃業:0件
13	町営住宅及び定住促進住宅家賃減免	町営住宅及び定住促進住宅の居住者のうち世帯合計所得が10%以上減少した居住者への支援	R2.4	R3.3	2,612,460	・コロナ禍により世帯の合計所得が10%以上減少した居住者への生活支援として家賃の減免を実施した。 減免対象者:29名	・家賃の減免を実施したことにより、コロナ禍により収入が減少した入居者の家賃負担の軽減と生活維持を支援することができた。 減免対象者の家賃滞納:0件
14	保育料等減免	町の自主休園の要請に応じて自主休園した園児の保護者への支援(日割減免)(保育料・副食費減免)	R2.5	R2.7	3,020,220	・町の自主休園の要請に応じて自主休園した園児の保護者へ日割で保育料・副食費の減免(還付)を行った。 保育料減免:延330人 副食費減免:延347人	・保育料、副食費を減免(還付)することを事前に保護者にアナウンスすることで、自主休園を促すことができた感染拡大時期の感染防止対策になった。 保育園内でのクラスター発生:0件
15	県内プロモーション事業	県内へ観光PRにより近隣市町村からの誘客を図り、観光業の回復を図る。	R2.6	R2.11	1,320,000	・とちぎ放送、レディオベリーなどにCMや広告をいれた。 栃木放送20秒CM(30本) レジャーマップ発行部数15万部 茨城放送20秒CM(30本) レジャーマップ発行部数12万部 おでかけマップ20秒CM(52本) レジャーマップ発行部数10万部 サマースポット15秒CM(32本)	・多くの人へ「那須町」をプロモーションしたことにより、マイクロツーリズムを印象付けることができ、誘客につながった。なお、観光客入込数は減少しているものの減少率は約3割減に留まっている。 ・観光客入込数対前年比:約72.5% R2観光客入込数 3,480,872人 R1観光客入込数 4,799,209人
16	那須町元気アップ!サマークーポン	経済の本格回復までの暮らし応援による地元消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券の販売	R2.5	R4.3	23,115,096	・生活応援・消費意欲の喚起を目的として、「那須町プレミアム付商品券(那須町元気アップ!サマークーポン)」を発行した。 商品券発行数:20,000部(1部5,000円分) 商品券換金額(町負担分):19,900,600円 販売委託料:2,030,378円 その他諸経費:1,184,118円	・地域経済の回復と生活応援・消費意欲の喚起に繋がった。 消費喚起効果額:99,503,000円(商品券換金額)

事業No.	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
21	ふるさと愛情便事業	経済状況の悪化により容易に帰省できない学生等の支援のため、農産物販売経費の一部補助	R2.10	R2.12	1,140,000	・3種類320セット(那須のいろいろ夏野菜60セット、那須高原のヨーグルト200セット、那須元気応援60セット)のふるさと愛情便を販売した。 商品購入費600,000円 郵送料400,000円 事務費140,000円	・コロナ禍のため容易に帰省できない学生等が町内農産物を取得することができた。併せて、販売促進及び生産者支援を図ることができた。 商品発送者：320人 うち町内：86人 町外：234人(県内：40人、県外224人)
22	感染症予防サーモグラフィ配備事業	サーモグラフィを設置し、新型コロナウイルス感染者の早期発見による感染予防・拡大防止を図る。(機器整備)	R2.7	R2.7	6,349,200	・体表温度監視カメラシステム(サーモグラフィ)を導入した。 サーモグラフィ：26台	・設置することで感染予防の意識付けと測定で感染予防につながった。 設置施設内でのクラスター発生：0件
23	指定避難所感染症対策事業	町内の指定避難所での感染拡大防止のため衛生確保に必要な設備等の点検修理及びソーシャルディスタンス確保のための資材購入(衛生用品等、組立式トイレ、避難所網戸設置・修繕、換気設備改修)	R2.6	R2.10	7,961,110	・避難所での感染症対策用品の購入や施設改修等を実施した。 衛生用品等1,794,400円 組立式トイレ1,255,100円 避難所網戸設置・修繕3,536,610円(芦野支所228千円、伊王支所66千円、黒田原小体育館104千円、東陽小体育館104千円、文化センター16千円、スポーツセンター2,530千円、旧那須小体育館352千円、旧伊王野小体育館100千円) スポーツセンター換気設備改修1,375,000円	・災害時に開設する避難所の感染症対策が強化されたことにより、コロナ禍における避難行動発令に際し、安心して住民を避難所へ避難させることが可能となった。 避難所内でのクラスター発生：0件(見込)
24	夏季学習対策事業	感染症拡大に伴う学校の臨時休業による授業時間の不足を補うため、夏季休業期間の一部について振替授業を実施するが、実施が夏季休業期間(7月～8月)のため、熱中症予防対策の必要がある。その為の資材購入及び空調設備未整備校への設備設置	R2.7	R2.10	1,907,083	・空調設備未整備であった特別支援教室へのエアコンの設置やサーキュレーター購入により、教室内の暑さ対策を行いました。また、各教室への温度湿度計設置や児童生徒へ塩分補給食品を支給することにより、熱中症を未然に防ぐ対策を講じた。 エアコン設置工事：1,210,000円 塩分補給食品：697,083円	・空調設備未整備であった特別支援教室へのエアコンの設置やサーキュレーター購入、各教室への温度湿度計設置や児童生徒へ塩分補給食品支給により、児童生徒の感染症予防及び熱中症対策にかなり効果があった。 設置施設でのクラスター発生件数：0件 振替授業中の熱中症発生件数：0件
25	安全安心通学支援事業	スクールバスでの感染拡大防止のため乗車密度(6割程度)低減を図るため保護者へ送迎に係る費用を補助(スクールバスの増便)	R2.6	R3.3	2,888,520	・スクールバスの増便と、自家用車による送迎を行った保護者へ補助金を支給した 小学生：28名 180,450円 中学生：24名 216,570円 スクールバス増便 2,491,500円	・スクールバスの増便及び自家用車による送迎を行った保護者へ補助金を支給したことにより、スクールバスの乗車率の軽減に繋がっており、車内の密を避けることができた。 スクールバス乗車密度減率：13% スクールバス内でのクラスター発生件数：0件
26	秋の誘客キャンペーン事業	Go to キャンペーンの旅先に選んでいただくための総合プロモーションを展開し、観光業及び地域経済の回復を図る。(PR事業費)	R2.7	R3.3	16,788,000	・都内大型ビジョンへ、映画、テレビにCMをいれた。アメリリー向け雑誌(まっふる、びあ)の裏表紙を飾った。富裕層向け雑誌に広告を入れることが出来た。 ・屋外大型ビジョン広告掲載業務 15秒CM(1日:15回放送) ・県民課客+24(夏)新編広告掲載業務 5段フルカラー広告掲載 ・教育旅行支援業務(修学旅行生向け送迎) ・東北6県新道群県8県、合計101旅行会社訪問、団体誘客数:270団体 ・広告掲載業務(鬼滅の刃テレビCM)15秒CM:20回放送 ・東方面(山形市内、郡山市内、福島県内)での観光イベント(講演・シンポジウム) ・まっふるオンライン家族でおかけ関東圏送迎業務 ・発行部数：90,000部 ・プロモーション用動画作成業務 ・春夏秋冬(冬)日曜日並び目録版(2020.12月掲載業務) ・発行部数：600部 ・ハーフ(作成業務(1/2入り)3/27-5,000円)、田舎(2mm)3,000部、44円:3,000部 ・とろろとろろの観光イベント広告掲載業務 発行部数：100,000部 ・広告掲載業務(シネマ)9劇場での15秒CM放送業務 放映回数:1,720回、放映員数:124,327人 ・グノシー連合「自団体・観光施設企画」20.9月掲載業務 ・アパ内部掲載掲載 表示回数:157,548回、1/2枚数:70,625回(0.87%) ・276県民客付伝事業業務 1/2枚数:409枚(110名) ・NKS広告宣伝事業業務 1/2枚数:20枚(50名) ・情報雑誌「JTB+」掲載業務(JTB+「JTB+」会員向け雑誌) 発行部数:5万部(200,125名)、2021.10.10発行(500部) ・情報雑誌「J+Style」掲載業務 ・JTB+ 特定会員向け雑誌、発行部数約9万部(見聞かんごの特集編集)	・多くの人へ「那須町」をプロモーションしたことにより、GoToトラベルキャンペーンを利用して那須町に来ていただくことができた。誘客につながった。なお、観光客入込数や宿泊者数は減少しているものの減少率は約3割減に留まっている。 観光客入込数対前年比：約72.5% R2観光客入込数 3,480,872人 R1観光客入込数 4,799,209人 宿泊施設利用数対前年比：約70.9% R2宿泊施設利用数 1,239,884人 R1宿泊施設利用数 1,748,432人
27	那須高原トラベルクーポン事業	Go to キャンペーンに合わせた旅行クーポン券を販売し、地域経済の回復を図る。(クーポン券販売)	R2.8	R4.3	40,936,728	・那須町内で使用できるクーポンを発行した。(インターネット販売) 商品券発行数：30,000部(1部5,000円分) 商品券換金額(町負担分)：29,835,000円 販売委託料：9,505,078円 その他諸経費：1,596,650円	・インターネット販売を行ったことで、遠方の方にも購入していただくことができた。観光客に使用したという声が多かったため、地域経済の回復に繋がった。 消費喚起効果額：149,175,000円(商品券換金額)
28	那須旅キャンペーン	春からの旅先に選んでいただくためのプロモーションやイベントを展開し、観光業及び地域経済の回復を図る。(PR事業)	R3.3	R4.3	29,098,720	・下野新聞への折り込み広告や、福島県内への番組にCMをいれた。 福島放送(テレビ朝日系)福島県民ラマー総選挙2021内でのCM放送 下野新聞別刷タブロイド4P「マイクローズリズム那須特集」	・下野新聞は県内ユーザーが多いので、県内からの問い合わせも多く、誘客に繋がったため、コロナ禍前の観光客入込数に比べて減少はしているものの、8割5分まで回復した。 観光客入込数対前年比：約118.0% 観光客入込数対R1年比：約85.6% R3観光客入込数 4,108,071人 R2観光客入込数 3,480,872人 R1観光客入込数 4,799,209人
30	観光地二次交通等支援事業	県補助対象外の観光地二次交通(きゅーびー号)運営事業者(那須町観光協会)への支援	R2.10	R3.3	1,800,000	・県補助対象外の観光地二次交通(きゅーびー号)運営事業者(那須町観光協会)への支援を行った。	・コロナ禍により乗客数が減少し収益が落ち込んだが、支援事業により当該シーズンの運行が可能となり、観光客の利便維持を図ることができた。また、観光地二次交通手段の確保は、今後の観光誘客にも寄与するものと考えている。 観光地二次交通利用者数対前年度比：約31.8% R2利用者数：17,008人 R1利用者数：53,417人 観光客入込数対前年比：約72.5% R2観光客入込数 3,480,872人 R1観光客入込数 4,799,209人
31	畜産経営緊急支援事業	消費低迷による需要減に伴い経営環境が悪化していることから、和牛繁殖農家や肥育農家、酪農家の経営支援を図るため、素牛導入補助	R3.3	R3.5	2,900,000	・優良牛整備事業の基準に該当する導入事例について補助を行った。 内用基礎雌牛：33頭1,650,000円 肥育素牛：19頭950,000円 乳用基礎雌牛：6頭300,000円	・コロナ禍による生乳や牛肉の需要低迷に伴い、経営不振となっていた町内畜産農家への素牛等の導入補助により、生産基盤の維持が図られた。 補助農家の廃業：0件
32	高齢者等の感染予防対策	重症化リスクが高い高齢者へ、衛生用品詰め合せセット配布	R2.8	R2.9	9,863,527	・高齢者に衛生用品を郵送により配布した。 送付件数：4,840人	・高齢者のワクチン接種が進んでいるとはいえ、全国的に感染者が増加傾向にある中、今後も新型コロナウイルス感染症対策が必要となることを踏まえた事業を行うことができた。また、教者会が主体となったため、長寿祝いを兼ねた配布としたことで、高齢者から感謝の声があった。 町内高齢者のクラスター発生件数：0件
33	地域医療機関支援事業	インフルエンザ予防接種を助成し、接種者を増やすことにより、予防接種の発熱来院者が増加した場合、新型コロナウイルスの可否判断が容易になり効率化が図られることをもって地域医療機関支援	R2.8	R3.4	8,715,369	・インフルエンザ予防接種助成を実施した。 予防接種助成件数：3,872件	・インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行を防ぐことができ効果的であった。 (県北健康福祉センター管内の7ヵ所発生数) インフルエンザ感染者数対前年度比：0.0% R2.9.28～R3.4.4の感染者数：1人 R1.10.1～R2.3.31の感染者数：5,331人
34	赤ちゃん世帯支援事業	定額給付金対象外であるR2.4.28～R3.4.11に出生した赤ちゃんがいる世帯の生活支援	R2.5	R3.5	7,400,000	・R2.4.28～R3.4.11に出生した新生児へ1人10万円の給付金を支給した。 支援対象新生児数：74名 1人あたり支給額：100,000円	・対象期間における出生新生児に給付金を支給することで、コロナ禍で育児をする家庭の生活を支援することができた。事業対象者からも家庭の負担軽減に繋がったとの意見を頂いており、事業の目的を果たすことができた。 アンケート回答者のうち「家庭の負担軽減に繋がった」と回答した者の割合：100%
35	学校ICT教育推進事業	児童生徒用のiPad整備に伴う専用カバーの購入	R2.10	R3.3	5,336,584	・児童生徒用タブレット端末(iPad)用耐衝撃機能付きケースを購入した。 耐衝撃機能付きケース：1,192台	・オンライン学習等の活用により、自宅への持ち帰りの際や使用中の破損等を心配する児童生徒の心理的不安を取り除くことができ、児童生徒が安心して家庭学習に取り組むことができた。 iPad故障発生件数：0件
36	学校修学旅行支援事業	修学旅行の宿泊から日帰り変更に伴うキャンセル料を負担し、中学生の保護者の経済的支援	R2.10	R2.10	482,312	・町内2中学校の修学旅行中止に係るキャンセル料を負担した。 中学校2校：190名分	・保護者への経済的負担を軽減することができた。 負担軽減率：100%(190名/190名)

事業No.	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認できる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を記載してください。)
			事業始期	事業終期			
37	道の駅東山道伊王野整備事業	道の駅東山道伊王野の「水車館」の感染予防対策のため客席を畳・長テーブルの密集型からカウンター・個別テーブルの分散型への改修等	R2.12	R3.2	2,213,658	・カウンター・個別テーブルとして新たに12席分を確保することができ、対面式のテーブルから非対面式の客席を新たに設け、感染対策を図ることができた。 水車館改修工事：1,276,000円 りんどう館改修工事：937,658円	・対面式のテーブルしかない中で、非対面式のテーブルを新たに新設できたのは、感染対策として効果があった。 当該施設内でのクラスター発生件数：0件
38	デマンド型乗合交通事業費補助金	デマンド型乗合交通事業者への支援（補助金）	R2.4	R3.5	302,300	・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した運賃分を補助金として交付した。	・補助金の交付により、事業継続が図れた。 支援事業者の事業継続状況：継続中
39	お試しサテライト事業	新たな生活様式への社会的移行を推進し、町内へのサテライトオフィスの誘致を図るため、お試しサテライトオフィスの設置	R3.3	R3.3	208,370	・お試しサテライトオフィス開設のための備品を購入した。 ミーティングテーブル：2個 椅子：5脚 冷蔵庫：1台 電子レンジ：1台 電気ケトル：1個	・サテライトオフィスを活用し新たな働き方を推進するとともに移住定住（二地域居住）の促進を図る準備ができ、利用者の増加が見込まれる。 (R4.4.1供用開始・2024年度末KP1) 施設利用件数：10件(1件2週間程度使用)
40	学校感染症対策事業	学校における感染症拡大防止のため空調設備未整備校への設備設置	R3.1	R3.3	251,570	・学びの森小学校保健室にエアコン設置工事を実施した。 設置数：1台	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気対策として空調設備を設置したことで、学校内での集団感染防止や児童の健康管理の向上につながった。 学校内でのクラスター発生件数：0件
41	子どもたちの新生活応援給付金	子ども達が次の生活ステージに着実に進めるよう、支出の増える段階の年齢の子どもを有する保護者の支援（給付金）	R3.3	R3.4	17,120,000	・6歳、12歳、15歳、18歳の子を持つ保護者661名に給付した。 6歳：137人×20,000円 12歳：134人×20,000円 15歳：189人×30,000円 18歳：201人×30,000円	・事業実施時期が年度末となり支出が増える時期を過ぎての実施となったが、現金での支給だったため、速やかな支出負担軽減を図ることができた。 必要品が準備できなかった相談件数：0件
42	林業生産力緊急強化対策支援事業	町の主要産業である林業の担い手である那須町森林組合への支援（那須町森林組合）	R3.3	R3.4	4,000,000	・町の主要産業である林業の担い手である那須町森林組合に対して、補助金を行った。 林産造林技能職員雇用維持分：1,500千円 事業継続分：2,500千円	・コロナ禍で木材価格が低迷している中、林産造林職員の雇用維持費の一部を支援することにより雇用の確保が図られた。 継続者数：0人 ・コロナ禍で生産が滞っている木材採運搬用の作業道開設の支援を行うことにより、生産基盤の整備推進が図られた。 作業道開設遅延件数：0件
43	庁舎内感染拡大防止対策事業	役場庁舎内感染拡大防止を図るため、空調設備における加湿機能強化の改修	R3.2	R3.3	528,000	・役場庁舎空調機器加湿機能強化改修工事を実施した。 工事費：528,000円	・中央制御による庁舎内空調機系統の加湿機能強化を行ったことにより、換気による外気導入ができ特定建築物の環境衛生管理基準湿度を満たす環境が整えられ、感染拡大防止の一助となった。 当該施設でのクラスター発生件数：0件
44	花いっぱいプロジェクト	花き農家を支援するため、庁舎等に花をいっぱい飾る事業を実施する花咲くとき推進協議会へ負担金を拠出（花咲くとき推進協議会）	R2.6	R3.1	482,687	・那須町役場ほか44ヶ所のカウンターにおいて、花瓶に飾花をして来庁者等をもてなした。また、役場本庁舎入口ホールとゆめプラザ那須入口ホールに各3回、フラワーディスプレイを施した。 花瓶への飾花回数：延べ44回 フラワーディスプレイ回数：延べ6回	・コロナ禍で生花の出荷が減少した町内の園芸農家を支援するための事業であり、事業継続に効果があった。また、アレンジメントされた花々を観賞することで、来客者及び職員のリフレッシュとなり職場環境の改善にもつながった。 町内園芸農家廃業件数：0件 鑑賞者からの苦情件数：0件
46	成人式貸衣装キャンセル支援事業	成人式の中止に伴う貸衣装のキャンセル料支払者の負担軽減を図るための支援	R3.2	R3.4	175,700	・成人式の中止に伴う貸衣装のキャンセル者に助成した。 助成対象者：6名	・新成人155名中、助成者数は16名でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により成人式中止に伴う貸衣装キャンセル料の一部助成により、新成人の経済的負担を軽減することができた。 負担軽減率：100%(6名/6名)
47	放課後児童クラブ感染症対策事業	放課後児童クラブにおける感染症拡大防止のための空調設備（エアコン）増強及び電源工事	R3.2	R3.3	217,800	・放課後児童クラブ施設のエアコン増設(1台)及び電源の確保のための工事を行った。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気対策として空調設備を設置したことで、施設内での集団感染防止や児童の健康管理の向上につながった。 当該施設でのクラスター発生件数：0件
48	栃木県新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮協働金	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、栃木県からの営業時間の短縮要請に全面的に協力した事業者に対して、県及び町が協調して協働金を支給した。お、事業者への協働金は県が一括支給（町負担金）	R3.3	R3.10	10,754,000	・栃木県に発出された緊急事態宣言を受け、県の要請に応じて営業時間を短縮した事業者様に対し、下記のとおり栃木県が協働金を支給した。 協働金支給事業者：271件	・営業時間短縮中の収入減に対する協働金の支給は事業継続に効果があった。 協働金支給事業者の廃業件数：0件
49	衛生用品購入	感染症拡大防止のため、衛生用品の購入（友愛の森、東山道伊王野、保健センター、オリンピック聖火リレー分、生涯学習、子育て支援センター、わんぱくクラブ）分、放課後児童クラブ施設、保育園、スクールバス、小中学校、備蓄	R2.12	R3.3	2,741,658	(1)道の駅分（友愛の森、東山道伊王野） 手袋：7箱(100枚入り) マスク：200箱(50枚入り) アルコール消毒液：27本 ポリエチングローブ：5組 (2)オリンピック聖火リレー分 手指消毒液10×12本 (3)生涯学習分 足踏式消毒スタンド 9個 手指消毒液：50×6本、4.50×3本×3組、800mm×11本 物品用消毒液：4.50×4本×12セット 4.50×4本 (4)保健センター分 物品消毒液(4.50)：10本 物品消毒液(400ml)：8本 物品消毒液(5kg)：9個 手洗い石けん(5kg)：10個 手指消毒液(500ml)：50本 手指消毒液(50)：9本 消毒用抹布(100×2本)：1セット (5)子育て支援センター、わんぱくクラブ、放課後児童クラブ施設、保育園分 手指消毒：115個 物品消毒：65個 感染症対策用品：870個 (6)スクールバス、小中学校分 物品消毒液(4kg)：40本 手指消毒液(50×4本)：5セット 手洗い石けん(50kg)：12個 感染症対策用品：333個	・各事業における効果は次のとおりであった。 (1)道の駅分（友愛の森、東山道伊王野） 各道の駅への衛生用品設置により、手指消毒等の感染症対策の徹底を図ることができ、当該道の駅でのクラスター発生抑制に繋がった。 当該事業でのクラスター発生件数：0件 (2)オリンピック聖火リレー分 衛生用品を、実施本部（遊行庵内）受付、出演者控室、来賓控室等各所へ配置、沿道警備員へ配布し、感染症対策を図りながら聖火リレーを実施することができた。 当該事業でのクラスター発生件数：0件 (3)生涯学習分 生涯学習関係施設利用者が、非接触型の足踏式スタンドで手指消毒の実施ができたこと、施設内備品類（テーブル、イス等）の使用後の消毒実施等の感染症対策を徹底したことにより、当該施設内でのクラスター発生防止が図られた。 また、消毒液等の設置により、施設利用者の安心感にもつながった。 当該施設でのクラスター発生件数：0件 (4)保健センター分 衛生用品の設置により、手指消毒等の感染症対策の徹底を図ることができ、当該施設内でのクラスター発生防止に繋がった。 また、消毒液等の設置により、施設利用者の安心感にもつながった。 当該施設でのクラスター発生件数：0件 (5)子育て支援センター、わんぱくクラブ、放課後児童クラブ施設、保育園分 各施設への衛生用品設置により、手指消毒等の感染症対策の徹底を図ることができ、当該施設内でのクラスター発生抑制に繋がった。 また、こまめに消毒を実施することができ感染防止への意識が高まり、当該施設内でのクラスター発生防止に繋がった。 当該施設でのクラスター発生件数：0件 (6)スクールバス、小中学校分 衛生用品の設置により、手指消毒等の感染症対策の徹底を図ることができ、当該施設内でのクラスター発生抑制に繋がった。各スクールバスに配布・設置することにより、児童生徒の感染予防に繋がった。 当該施設等でのクラスター発生件数：0件
50	子ども・子育て支援交付金	学校休業期間における放課後児童クラブの特別開所、人材確保、障害児受入、利用料減免に対するクラブ運営者への支援（運営委託費用支援）	R2.9	R2.11	6,132,530	・4月8日～5月29日の学校休業に伴い、放課後児童クラブの特別開所を行った。併せて、利用を自粛した利用者について減免を行った。 特別開所期間：4月8日～5月29日 減免数：対象者229名を対象として延べ4,947名	・放課後児童クラブへの特別開所に対する支援を実施し、学校休業期間における子どもたちの居場所の提供ができたことから、保護者が安心して就労することができた。 また、利用者は、利用しない期間の利用料の返還を受けたことで経済的負担の軽減に繋がった。 特別開所率：100%

事業 №	事業名	事業の概要	実施期間		事業費(円)	事業の実績 (交付対象者数や購入物品数等の事業実績が確認で きる内容を記載してください。)	事業の効果 (事業の効果について、担当課としての検証結果を 記載してください。)
			事業始期	事業終期			
51	学校保健特別対 策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 町立小中学校用衛生用品等の購入	R2.4	R2.10	592,980	・物品消毒用品やスプレーボトル等を町で一括購入し、各学校へ配布した。 非接触式電子温度計：24個 336,000円 消毒液等衛生用品：256,980円	・学校内で使用する衛生用品の確保及び設置により、学校内でのクラスター発生の抑止に繋がった。また、町が消毒用品等を一括購入したことで購入手続きの効率化を図り学校の事務負担軽減にも繋がった。 学校内でのクラスター発生件数：0件
52	学校保健特別対 策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 町立小中学校の再開に係る感染症対策、新たな教育環境整備及び学習支援用品等の購入	R2.4	R2.12	8,574,073	・感染症対策に必要な消耗品や備品などを学校配当予算で購入した。 小学校6校：6,072,695円 中学校2校：2,501,378円	・各学校の実情に応じて、各学校において感染症対策に必要な物品を購入することができたことから、学校内でのクラスター発生の抑止に繋がった。また、学校の安全な運営にも効果があった。 学校内でのクラスター発生件数：0件
53	学校臨時休業対 策費補助金	感染症拡大に伴う学校の臨時休業による給食食材のキャンセルを行ったがキャンセル料が発生することから、保護者の負担を軽減するための支援	R2.4	R2.9	587,184	・令和2年3月の学校臨時休業の際、町内全小中学校の給食食材のキャンセル料を支援した。 キャンセル食材 牛乳(200ml)：22,412個 456,079円 パン：5,161個 131,105円	・コロナ禍の収入減に伴い、保護者及び食料提供事業者の負担軽減につながった。 給食費滞納件数：0件
54	公立学校情報機 器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) 遠隔学習用機材の購入	R2.7	R3.3	298,880	・遠隔学習用機材としてWEBカメラ、マイク付きヘッドセット、スピーカーフォンを購入し、町内全小中学校に配備した。 WEBカメラ：12台 111,600円 ヘッドセット：20個 33,000円 ワイドレンズカメラ：16台 119,680円 スピーカー：1個 34,600円	・遠隔学習用機材の購入により、オンライン授業が充実し児童生徒の学習確保に繋がった。 学習機会の喪失回数：0回
55	公立学校情報機 器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) GIGAスクールサポーター配置	R2.9	R3.4	4,872,460	・GIGAスクールサポーターを設置し、町内小中学校を巡回してタブレット端末の初期対応等を行った。 GIGAスクールサポーター設置：3名 巡回校：小学校6校 中学校2校	・GIGAスクールサポーターは、ICTやパソコン関係の調整及び不具合整備等、ICTに関連する様々な状況に迅速に対応し、学校教職員の授業づくり及び児童生徒の学習確保に繋がった。 ICT機器不調等による教育機会の喪失回数：0回
56	障害者総合支援 事業費補助金	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業) 特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用者への支援	R2.4	R2.7	25,347	・放課後等デイサービス事業所を通して特別支援学校等の臨時休業に伴う利用者への平日利用料と休日利用料との差額の支援を行った。 支援施設：1施設	・新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休業となった特別支援学校の利用者に対する支援ができた。 サービス利用機会の喪失回数：0回
計					406,579,919		